

マリンビジョンNewsは、サロマ湖地域の1市2町で構成するマリンビジョン協議会が、自然環境と共生した明るい未来を創造する漁村づくりに向けた活動を紹介する広報紙です。

種カキ無事確保！



サロマ湖でのカキ養殖に必要な種カキは、毎年宮城県の養殖漁業者より購入していますが、東日本大震災の津波で、種カキの養殖施設が被災したことから、一時は諦めて、広島県産の導入を検討しました。しかし、生育条件が合わないため断念しました。その後、宮城県の養殖業者が、無事だったカキの稚貝を出荷してくれ、4月22日から5月7日までに、本年度購入予定量のほぼ100%を確保することができました。この貴重な種カキが、サロマ湖で大きく成長することを期待します。

外海ホタテ本操業開始

6月3日、湧別漁業協同組合は、オホーツク海でのホタテ桁引き漁の今期本操業を始めました。湧別漁港には、次々と操業船が入港して荷揚げする状況に、本格的な漁期を迎えた前浜の活気を感じます。また、佐呂間・常呂漁業協同組合では、6月1日から同様に本格操業を始めております。水揚げされた今年のホタテは、成長遅れに悩んだ昨季とは異なり、貝柱の歩留まりがともに良好で、昨年より高値で取引されています。各漁業協同組合ともに目標漁獲量を達成して、実り多い終漁を迎えることを希望します。



備えあれば・・・



4月13日、佐呂間水難救難所は、富武士漁港で訓練大会を実施しました。訓練大会に先立ち、物故所員と東日本大震災で亡くなられた方々に対し黙禱を捧げ、哀悼の意を表しました。訓練大会では、ポンプによる放水やもやい銃の発射など、万が一の場合を想定した訓練に、約50名の所員が一丸となって取り組みました。なお、常呂は6月10日、湧別でも6月12日に実施しました。今年一年、サロマ湖地域で水難事故のないことを祈ります。

帰ってきてね！

4月26日、常呂漁業協同組合は、水産総合研究センター根室事業所との共催で、北見市朝日町の常呂川河川敷でカラフトマスの稚魚放流式を行いました。放流式は、4年前から北見市立南小学校の体験学習として取り組んでおり、4年生59名が稚魚千匹を放流しました。また、5月13日には、常呂町字日吉で、小学校と保育所の児童がサケの稚魚を放流しました。なお、湧別漁業協同組合でも、5月10日にサケの稚魚を放流しました。いずれも沢山の稚魚が、大きく育てて帰ってきてほしいと願います。



イベント情報

- 7月 15～17日：北見ぼんちまつり(北見市) 16・17日：ゆうべつ大漁みなとまつり(湧別町)
8月 7日：湧別サロマ湖龍宮えびホタテまつり(湧別町) 14・15日予定：ところふるさとまつり(北見市)
9月 3・4日：かぼちゃまつり「シンデレラ夢2011年」(佐呂間町) 23日：湧別町産業まつり(湧別町)

発行 サロマ湖地域マリンビジョン協議会
編集 サロマ湖地域マリンビジョン協議会事務局

2011.6.30

〒099-6404 湧別町栄町112番地の1

湧別町総合支所産業振興課内

Tel 01586-5-3763 ・Fax 01586-5-2283

Mail sangyo@town.yubetsu.lg.jp

